

よいた  
**与板地区**  
(新潟県長岡市)

- 計画期間 平成19年度～平成23年度
- 面積 740ha
- 交付対象事業費 865百万円
- 市人口 262,387人

**ポイント** 城下町与板のもてなしと地域資源を未来につながるまちづくり物語

**地区概要** 自転車歩行者(優先)道路の整備を軸に、住民と協働で、地域資源を有効に活用しながら、散策ネットワークづくりや魅力と賑わいのある商店街、災害に強い市街地、来訪者へのもてなしで与板再生をめざす。

**目標** まちなか資源活用による地域住民が楽しく安心して暮らすことができる中心市街地の再生。

**指標** 目標の実現にあたり、まちに「住む人」、まちに「来る人」、まちで「もてなす人」の指標として、計画の成果を一目でわかるように設定した。「直江兼続」の全国放映効果が、まちづくりの目標を達成する起爆剤として期待される。

まちなか通行者数	1,163人/12h (H18)	→	1,361人/12h (H24)
防災訓練参加者数	200人/年 (H18)	→	518人/年 (H24)
中心商店街営業店舗数	78件 (H18)	→	75件 (H24)
主要施設の来訪者数	7,620人/年 (H18)	→	9,436人/年 (H25)

**事業内容** 基幹事業 (742百万円) → 自転車歩行者(優先)道路整備(1,560m)、まちなか散策路整備(3ルート)、緑地広場整備、まちなか駐車場整備(21台)、観光施設案内サイン整備、耐震性貯水槽整備(60t)、防火水槽整備(40t)、デザイン照明施設等整備

提案事業 (123百万円) → 楽山苑景観整備、与板城跡景観整備、本与板城跡景観整備、まちづくり活動拠点整備実験事業(まちなかの駅)、まちづくり協議会運営事業、まちづくり交付金事業の実施に関する成果検証及びまちづくり方策検討事業、まちなか散策マップ作成



## 地区の現況と課題

- ・当該地区は、平成 18 年 1 月 1 日に長岡市と合併した旧与板町に位置する。
- ・昭和 50 年に廃止の鉄道廃線敷が未だに活用されていない。
- ・7・13 水害、中越・中越沖地震と相次ぎ災害を受け、城下町の狭隘道路と町屋密集が防災上支障となっている。
- ・商店街は、賑わいと魅力が低下し、老朽化と空き店舗が目立っている。
- ・平成 21 年に与板城主「直江兼統」主人公の NHK 大河ドラマの放映。

## 提案事業の特徴

直江兼統の NHK 大河ドラマ「天地人」を追い風として、それに係るハード事業とソフト事業を効果的に連携させ、相乗的な効果を図る。

### 楽山苑景観整備

明治の三輪家元別荘の改修と井伊神社との回遊を改善。

### 与板城跡景観整備

来訪者のため、直江兼統ゆかりの城跡周辺に散策路、トイレ整備。

### 本与板城跡景観整備

来訪者のため、直江家ゆかりの城跡周辺に散策路、トイレ整備。

### まちづくり活動拠点整備実験事業

まちの駅を市民団体が観光・交流の拠点施設として運営実験。

### まちづくり協議会運営事業

都市再生整備計画の事業活用調査とまちづくりのコーディネート。

### まちなか散策マップ作成

観光と住民の健康のため、回遊ルートと歴史、文化資源を紹介。

### まちづくり交付金事業の実施に関する成果検証及びまちづくり方策検討事業

事業効果を分析し、課題と解決する具体的な方策について検討。

## 計画策定プロセス

「市民との協働による与板のまちづくり」を実現するために、先行的な取り組みから継続的な取り組みへ。

### 空き店舗を利用した住民活動の社会実験(平成 14～16 年度)

空き店舗を、地場産業の展示、市民ギャラリー、地域住民の交流の場、地域・商店街活動の場などに活用する社会実験。

### 住民アンケートとワークショップの実施(平成 16 年度)

都市再生に鉄道廃線敷をどのように有効活用するかを、住民の意向調査と公募住民からなるワークショップで検討した。

### 与板地区都市再生整備計画の策定(平成 18 年度)

住民からなる委員会で策定した。

### 全庁的推進体制の確立(平成 18 年度～)

与板支所と本庁が一体となった推進体制を構築。

### ワークショップの開催(平成 19 年度)

公募住民と地域委員会、直江兼統プロジェクトチーム、専門家による具体的な提案作業と市民力によるもてなし内容の検討。

### 直江兼統プロジェクトチーム結成(平成 19 年度～21 年度)

来訪者受入のもてなしを住民が得意分野で自主的に取組む。

### まちづくり協議会の設置(平成 20 年度～22 年度)

都市再生整備計画の事業活用調査とまちづくりのコーディネート。

### 愛ネット結成(平成 20 年度～22 年度)

市民団体を統括する団体で社会実験施設のまちの駅を運営。



▲歴史民俗資料館の直江兼統の銅像と甲冑「愛の前立て」(複製)



【 廃線敷を道路として整備する場合の利用形態 】

